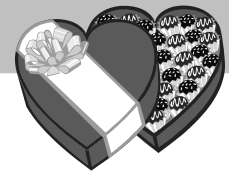


神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

February

くさか景子の



ちよっ
と

よろしいですか！

毎月発行 県政情報誌 2008年2月 Vol.9

What's
New?

県道44号(伊勢原藤沢線)西久保地区 20年秋開通

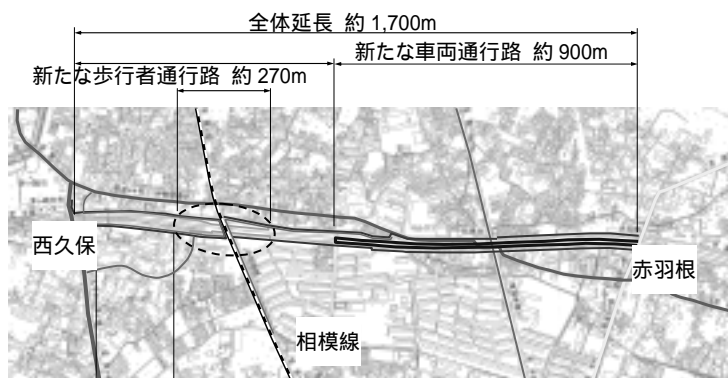
市民の念願だった新湘南バイパス高架下の側道やっとできる

市民にとって新湘南バイパスは、茅ヶ崎から藤沢に抜ける道路として、渋滞もなくスムーズに通過できる道路。そして、バイパスの下を走る側道はさらに便利な道路として、日常的に使用しています。しかし、変電所から鶴が台団地までは、開通しておらず、旧大山街道を通っているのが現状。大山街道は、道も狭く一部歩道もなく、すれ違うのも難儀する、過去には交通事故もおきている市内でも危険な道路のひとつです。側道は、地元住民からの要望も強く、ずっと懸案でありましたが、やっと開通の目処がつかしました。

先日、工事現場を視察し、相模線の立体交差部の進捗状況を確認。県藤沢土木事務所によると、本来であれば、今春には完成予定でしたが、さがみ縦貫道の西久保ジャンクションの下部工補強工事が遅れる関係で、側道も遅れるとのことですが、JR 相模線立体交差部の歩道は、20年春には開通します。歩行者や自転車利用は、便利になります。

側道の開通は、市民の願いですので、これ以上遅れることなく、早期工事を要望しました。しかし、この開通後は、近隣住民にとって、騒音や排ガスの問題もでるので、その対策も急がれます。そして、根本的な問題としては、大山街道の交通量は減るとしても、依然狭く高低段差のある歩道は危なく改修の必要性があります。引き続き、大山街道の安全性、さがみ縦貫道の早期実現に向けては、国、県、市に要望をしていきます。

(県道44号とは西久保から赤羽根1.7キロの平成8年度からの整備事業 予算28億円)



県道44号線工事現場訪問



藤沢市立白浜養護学校を訪問して

過大規模化が問題となっている茅ヶ崎の県立養護学校では、スクールバスに乗れない高等部の子どもたちの通学の保障を県に要望しているところですが、県は財政難の折、あくまで高等部は義務教育ではないとして、自力通学を推進しています。高等部のこどもたちは、スクールバスのかわりに、NPO 団体の移動サービスを利用して通学していますが、月3万円の自己負担は大きな問題となっています。

一方、藤沢市では、市立の養護学校があり、高等部の子どもたちもスクールバス通学をしています。最近、新たに車椅子のリフト付きスクールバスが入ったというので、通学の様子を中心に視察してきました。藤沢市は江ノ電と業務委託契約を結び、1日往復1台、71,841 円(輸送代と介助者 2 名付き)年間約 1,700 万円、4 台あるので、年間約 6,800 万円かかりますが、利用者の負担はありません。道路交通法の改正により、床が低いタイプが使えないため、リフトが必要になり、このほど江ノ電で改造設置しました。他にも、万が一のため、運転手の背後に透明の樹脂シートをつけたり、車椅子の場所の確保と車止めの設置など学校からの要望もあり、それに応える形で手厚く江ノ電側が対応してくれています。



リフト付スクールバス

障がいをもって生まれても住むところが違うだけで、格差が生じるのは本当にやりきれません。県や市にかかわらず、すべてのこどもたちに等しい教育環境を整えるのは必然です。



くさか景子のホッとコラム

すべての武器を楽器に！
喜納昌吉のメッセージ



私は9条の会にも入り、積極的に平和活動をしています。昨年は、キャンプ座間への司令部設置反対デモに参加したり、岩国市への国の不当補助金カットへの抗議をしたり、沖縄へ出かけ、集団自決のがま視察、米軍基地見学や、辺野古の海やヤンバルの森を守る活動を応援したりしました。平和問題を考える時、基点にあるのは、沖縄だと思います。昨年末31日までを沖縄で過ごしました。もういちど平和記念館やひめゆりの塔を訪れ、地上戦を体験した人達の証言を聞き、肌で平和の重要性を感じてきました。そして、私の好きな喜納昌吉ライブを聞きに、彼は音楽を通して平和を伝える活動家です。胸にジーンと響いた彼からのメッセージ「すべての武器を楽器に」を抱いて今年も平和運動を続けます。



沖縄で喜納昌吉さん(中央)と